

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	江戸下町伝統工芸の振興					所管	文化産業観光部 産業振興課
	行政計画	事業NO.	27	計画事業名	江戸下町伝統工芸の振興	事業の開始・終了年度	
長期総合計画体系	[基本目標] I-1. 産業の活性化					[事業開始] 平成 9 年度	
	[小 柱] (2)地域経済の活性化					[終了予定] - 年度	
	[施 策] ②伝統産業の振興						
根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立江戸下町伝統工芸館条例、施行規則				
事業対象	一般区民、観光客、修学旅行者等						
事業目的	江戸下町伝統工芸館の運営を通じ、伝統工芸の保存・普及・販路拡大・後継者育成を図り、伝統工芸産業の振興と育成に寄与する。						
事業内容	①江戸下町伝統工芸館の運営 ②江戸下町伝統工芸館での常設展示 ③江戸下町伝統工芸館での催し開催(毎週土、日曜日の実演、特別展(年2回)、伝統工芸品集合展(年2回)、手づくり教室(年3業種、延6回)) ④台東区の伝統工芸職人展(東京国立博物館)(年1回) ⑤区外での実演・販売(都庁・年1回) ⑥区外での手づくり教室(年1回) ⑦国立科学博物館でのものづくり教室(対象:小中高生・年1回、一般・年1回) ⑧伝統工芸教室(区内小中学校対象) ⑨伝統工芸のビデオ視聴及び貸出し						
委託の有無	一部委託	委託内容	運営業務等委託(受付業務・清掃業務)(民間業者) 事業運営委託(職人団体)				
補助金の有無	なし						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度
	活動指標	伝統工芸教室	回	3	3	3	3
		伝統工芸職人展	回	1	1	1	1
	成果指標	江戸下町伝統工芸館入館者数	(人)	140,000	126,391	117,887	114,997
		(外国人入館者数)	(人)	-	6,558	7,129	7,729
	決算額 (単位:千円)				13,852	14,241	14,708
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			11,930	12,327	7,218
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			13,803	14,191	14,635
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			50	50	73
		総経費			25,783	26,568	21,926
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			20	0	0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0	
	一般財源(区負担額)			25,763	26,568	21,926	
前回評価から改善した事項	伝統工芸品を業種別に紹介する日本語・英語表記のパネルを作成し、工芸品についてわかりやすく紹介する工夫を行った。						
評価の視点	評価	評価の理由					
	必要性	3	生活様式の変化等に伴い、伝統工芸の認知度は若年層を中心に低下しており、気軽に伝統工芸に触れる機会を作ることは重要である。伝統工芸館内における常設展示や各種イベント、工芸館外での実演やワークショップを通じて広くPRに努めており、伝統産業の振興・継承につなげていくため必要な事業である。				
	効率性	3	イベント開催時、過去に使用したパネルのうち再利用可能なものは利用している。また、工芸館外でのイベントにおいて、必要な什器については区の備品を使用する等、コスト削減に努めている。				
	手段の適切性	3	職人団体と連携し実施する実演や手づくり教室において、来場者と職人のコミュニケーションの場となり、伝統工芸への興味が深まるようPRしている。伝統工芸産業の振興と育成という目的を達成するために適切な手段である。				
	目的達成度	2	工芸館の入館者数は、平成25年度の126,391人から減少傾向にある。				
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	改善 拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了
工芸館の入館者数が減少しており、常設展示の方法や新たな企画、情報の発信等の改善が必要。なお、1Fビデオコーナーの更新や展示品の説明の改善等、現在着手可能なものについては順次行っていく。							